

ご町内のみなさん。おはようございます。日本共産党庄原市議会議員の藤木くにあきでございます。私は、庄原市政の問題について、お訴えをさせていただきます。

さて、庄原市政の、一番大きな問題は、**財政危機の問題です。**その原因は、自民党政府が、自治体の財源を大幅に削減してきたこと。大型建設事業優先の市政・町政のつけが、まわってきたこと。市議会・町議会がそれを充分チェックしてこなかったこと、にあります。

私たちは、この財政危機をたてなおすためには、次のようなとりくみが必要だと考えています。

第一に、財政危機の大本をつくりだした自民党政治を切りかえるため、来るべき参議院選挙でキツパリ審判を下すこと。

第二に、大型建設事業優先の市政から、市民の暮らしをまもる市政に切りかえさせること。特に80億円もかかるといわれるケーブルテレビ事業は、直ちに凍結させる必要があります。そして、40億円もかかるといわれる新庁舎の建設については、もっと、簡素で、安い建物にさせる必要があります。私たちは、そのために、みなさんと力をあわせ全力をつくしてまいります。

第二の問題は、出産医療の問題です。庄原赤十字病院での出産がストップして2年がこようとしています。

「となりの三次市では遠すぎて不安だ、1日も早く日赤で再開してほしい」これが、市民のみなさんの率直な声です。私たちは、医療行政に責任をもつ広島県に、対応を求め、都市部に集中している産婦人科医を、庄原赤十字病院に派遣させるよう全力をつくしてまいります。

第三の問題は、少子化対策の一環として、第2子、第3子の保育料を軽減させる問題です。

現在は、第1子、第2子、第3子が同時に入所していなければ保育料は安くなりません。私たちは、兄弟が同時に入所していなくても、第2子、第3子については、無条件に軽減させるよう全力をつくしてまいります。

第四の問題は、庄原中学校の耐震対策の問題です。39年前に建てられた庄原中学校は、耐震診断の結果、

地震にあつと崩壊することが明らかになっています。600人近い生徒と先生方が一日の大半を過ごし、地震の際には、市民の避難場所となる庄原中学校を、このまま放っておくわけにはいきません。私たちは、1日も早く、建替えるようつよく求めてまいります。

どうか、市民の立場でがんばる、私たち、日本共産党に、ひきつづき、大きなご支援をお寄せいただきますよう、心からお願いいたします。私の、お訴えとさせていただきます。